

学 校 沿 革 史

京都市立修学院小学校

明治 6年 5月	一乗寺尋常小学校ができる。
明治 7年 8月	修学院尋常小学校ができる。(修学院離宮の中にあった)
明治 9年	高野尋常小学校ができる。
明治41年	修学院尋常小学校が廃校となり、松ヶ崎橋西詰に格知小学校ができる。
大正 5年 4月1日	今まで松ヶ崎村と組合格知小学校を設立してきたが、両村協議の上、組合を解散し新しく修学院村立修学院小学校尋常小学校を設立することになる。(創立)
	<div> 1元格知小学校 修学院区の1年から5年までと5年・6年 2修学院区集会所 付設の実務女子学校 3元一乗寺分校 一乗寺区の1年から4年まで 4元高野分校 高野区の1年から4年まで </div>
11月2日	本校が完成する。
大正 7年 7月10日	玄関前にクスノキふた株、元農林学校より移植する。
大正 8年10月15日	校門ができる。(今の西門)
大正 9年	このころ校歌ができる。
大正13年 2月10日	三育館(講堂)ができる。
昭和 6年	京都府愛宕郡修学院村が京都市に入り左京区修学ん・左京区一乗寺・左京区山端というようになる。 体育館南側(今の)イチョウを植樹する。
昭和 9年 9月21日	室戸台風で大きな被害を受ける。
昭和10年 6月29日	前夜より豪雨のため、高野川の橋がことごとく落ち、宅地田畑など押し流される。 豪雨のため音羽川が氾濫し講堂横に砂が1メートルぐらいたまる。
昭和16年	学校名が変わり京都市修学院国民学校となる。
昭和20年 4月	軍需生産のため工場疎開のため、校舎すべてを三菱重工業の工場となり、全校各地域に分散して授業をする。 <div> 縁故疎開児童 113名 上高野地区 宝童寺・三宅八幡・集会所 修学院地区 建民修練所・七町会館 山端地区 聖光幼稚園・建民修練所・松ヶ崎国民学校・集会所 上一乗寺地区 北山御坊・集会所 下一乗寺地区 養徳国民学校 </div>
9月	終戦となり、本校に復帰する。
昭和22年 4月	京都市立修学院小学校と学校名が変わる。
昭和25年	育成学級(今のひまわり学級)ができる。
昭和34年	修学院第二小学校ができる。(修学院小学校から分かれる。)
昭和38年 6月28日	プールができる。
昭和39年	総合遊具ができる。
昭和41年	創立50周年記念式典を行う。記念誌「山ふもとの学校」発刊。
昭和42年	音羽川南側の児童専用通学路ができる。
昭和45年 3月	中校舎4教室ができる。

昭和47年	運動場南側体育倉庫ができる。
9月17日	台風20号により音羽川が氾濫。
昭和51年	上高野小学校が修学院小学校から独立する。
昭和53年 1月	南校舎ができる。
昭和54年 7月	北校舎ができる。
昭和55年11月	体育館敷地内より埋蔵文化財が出土する(縄文・平安・鎌倉時代の土器片)。
昭和56年	体育館ができる。
昭和57年	スポーツ教室が始まる。
昭和58年	本館ができる。「まなびの池」ができる。
昭和62年2月	創立70周年記念誌「子どものための修学院風土記」をつくる。
平成 2年	創立75周年記念郷土資料室「ふるさとひろば」・造形砂場・シュート板ができる。 生涯学習室「地域文化センター」ができる。
平成 3年	プール改修始まる。
平成 4年	プール改修完了。 中校舎大規模改造(図工室・家庭科室・子どもホールできる。) 本館・南校舎・北校舎 廊下壁面塗装やり替え。
平成 5年	運動場改修される。
平成10年11月	フロンティアスクール推進事業(理科)の指定を受ける。 築山記念式典
平成11年10月	北門横トイレ解体(撤去)する。
平成16年	みやこ学校創生事業の指定を受ける。(～平成17年) 学校の情報化推進校となる。 禽舎を増築する。
平成17年	運動場防球ネットが設置される。
平成18年 8月10日	学校運営協議会 発足
平成19年	「放課後まなび教室」始まる。
平成20年	コミュニティ・スクール推進授業の指定を受ける。(～平成21年)
平成24年 8月	第1回修学院夏祭りが「修学院はひとつ」のもと 開催される。
9月	学童大音楽会参加(～26年)
11月	男子400メートルリレーで、全国大会出場する。(6年)
平成25年 3月	便きょう会を実施する。(～平成27年3月(実施予定))
11月	修小本のリユースフェアを開催する。(～26年)
12月	クロスカントリー全国大会に出場する。(6年)
平成26年 2月	子ども議会(わがまち修学院プロジェクト)を開催する。